

事務事業マネジメントシート(平成22年度実績と平成23年度計画)

平成23年10月14日更新

事務事業名		再生資源集団回収助成事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	2 緑豊かな環境と共生するまちづくり				所属部	市民部
	施策	8 廃棄物の抑制とリサイクルの推進				所属課	環境衛生課
	基本事業	22 リサイクルの推進				所属班	環境衛生班
予算科目		会計一般	款 4	項 2	目 1	事業連番 11476	法令根拠
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 22年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)
		合志市再生資源集団回収助成金交付要綱				成果優先度評価結果	①
						コスト削減優先度評価結果	②
						担当若名	齋田 奏子
						(内線)	1144

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	子ども会等の廃品回収を行なっている団体に対し、補助金を交付することによりリサイクルを進めること及び菊池環境保全組合への搬入量を削減するために平成5年度より開始した。再生資源の回収を行なった団体に対し、回収量に応じて補助金を交付する。補助額：10円/kg(古紙、缶、ペットボトル、布類)、10円/本(1升ビン)、8円/本(その他のビン)回収量及び団体が増加した。平成19年度より対象品目にペットボトルを追加した。
(開始した背景、きっかけ、今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	回収団体登録受付、補助金交付申請書受付、審査、交付決定通知、支払い事務
【主な予算費目】	補助金及び交付金(補助金)
【意見や要望】	住民より有価物にならないものがある、単価の改正をして欲しいとの意見がある。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
①手段(主な活動)22年度実績(22年度に行なった主な活動)(DO)		23年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
資源物回収団体への説明会を行なった。申請書受理、審査、支払い事務を行なった。補助金支払団体数(実績)66団体		平成22年度に同じ
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ア 申請件数	件	前年度が骨格予算であったことによるものであり、回収助成の前年度実績見込みによる助成金の増
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		②対象指標(対象の大きさを表す指標)
→イ 資源物回収団体		→ア 資源物回収団体数
		→イ 団体
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③成果指標(意図の達成度を表す指標)
→イ 再生資源の集団回収を活性化し、資源リサイクルを推進する		→ア 助成を受けた団体数/登録団体数
		→イ %
*③成果指標設定の理由と23年度目標値設定の根拠		
再生資源の集団回収を実施することで、資源リサイクルの推進に繋がることから、成果指標を「助成を受けた団体数/登録団体数」とし、目標値については登録全団体に実施してもらうことが重要であり「100%」とした。		

(2)各指標・総事業費の推移		単位	20年度実績(決算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	24年度予定	25年度見込	
①活動指標	ア	件	120	119	130	121	130	130	130	
	イ									
②対象指標	ア	団体	68	75	75	67	75	75	75	
	イ									
③成果指標	ア	%	82.2	93.3	100	98.5	100	100	100	
	イ									
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	10,777	11,014		10,483	12,685	12,685	12,685
	(A)事業費計	千円	10,777	11,014	0	10,483	12,685	12,685	12,685	
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	73	0	0	
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	73	0	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	2	4	4	6	4	4	4
延べ業務時間		時間	190	228	200	320	200	200	200	
(B)人件費計		千円	760	907	796	1,318	824	824	824	
トータルコスト(A)+(B)		千円	11,537	11,921	796	11,801	13,509	13,509	13,509	

総トータルコスト  
全体計画  
～  
年度

(期間限定複数年度のみ記載)

0

事務事業名	再生資源集団回収助成事業	所属部	市民部	所属課	環境衛生課
-------	--------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部 (SEE)   
 \*原則は22年度の後評価、ただし複数年度事業は22年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①22年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②23年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 目標値の「100%」は厳しいかもしれないが、目標達成に向け努力する。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 取組団体を増やす。また補助金の対象品目を増やすことによりさらにリサイクルを進めることができる。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業がない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 収集量に応じた補助金であり、削減は厳しい。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正規職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 量の確認等は正規職員でなくても処理できるが、支払い事務については正規職員で対応したほうが良いと思われる。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 営利を目的としない市民団体であれば、団体登録できるので公平・公正である。
	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 量の確認等は正規職員でなくても処理できるが、支払い事務については正規職員で対応したほうが良いと思われる。

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

平成22年度については、66団体に対して補助金の交付を行った。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p> <p>再生資源集団回収団体については、この事業活動により助成金を交付することで、貴重な環境活動の資金となっている。ごみの減量化に繋がる活動として継続する。</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p> <p>助成金の取扱について見当が必要。収集した資源物を買取業者へ売渡し、市からも収集量に応じて助成金を交付されることが適当か。要検討する。</p>																						